

## 日常生活から排出される温室効果ガスの「見える化」の 進め方（平成 21 年度）について（案）

### 1. 日常生活 CO<sub>2</sub> 情報提供ツール（仮称）について

昨年度の日常生活分科会において、日常生活 CO<sub>2</sub> 情報提供ツール（仮称）案（以下「ツール案」という。）に盛り込むべき機能、各機能で提供する内容やホームページで表示する構成などについて検討を行ってきた。

また、本年 3 月 10 日（火）から 3 月 30 日（月）にかけて、ツール案についてパブリックコメントを実施し、実施結果については 4 月 16 日（木）に公表したところである。

日常生活分科会での議論、パブリックコメントの実施結果、2. におけるモデル事業において、ツール案を使用させていただく家庭からの意見などを考慮し、今年度中にツールの試行版を公開する予定である。

### 2. 家庭における温室効果ガスの「見える化」に関するモデル事業について

エアコン、TV、冷蔵庫など主要なエネルギー消費機器の省エネ性能のカタログ値は容易に手に入るが、購入後のエネルギー消費機器の使用実態とどの程度一致しているのか、使い方によってどのようなエネルギー消費の違いがあるのかはあまり知られていない。また、実際の家庭における省エネ行動は、その結果として電気・ガス使用量の総量の変化で把握できるが、各対策別に実際の効果を把握するのは困難になっている。

そこで、全国約 200 世帯を対象とし、電気使用量を記録・表示する計測器を配付して、主要なエネルギー消費機器のエネルギー使用実態や省エネ行動の効果を実測調査するとともに、1. で示したツール案を試用していただき、使い勝手や改善すべき点などを調査し、ツール案に反映させるモデル事業を実施する。